

本質を追い求めて!

特別支援教育

交流・共同学習を通して

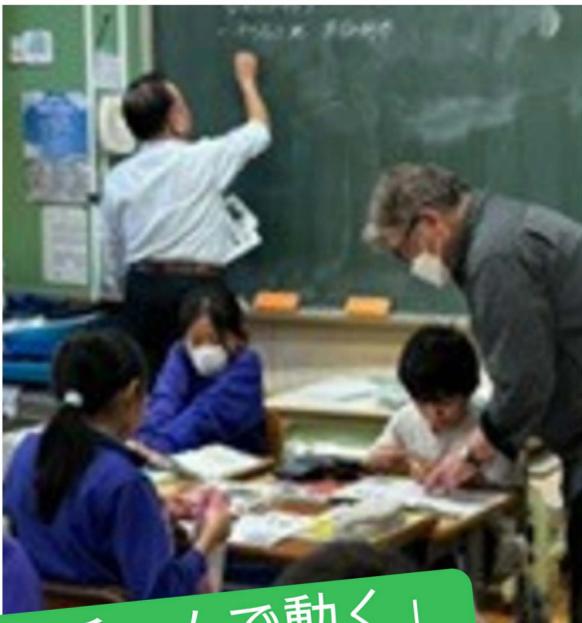
～自分のこと 相手のこと つながること～



長野市立昭和小学校の浦田誠一先生の「極意」伝承道場に参加させていただきました。特別支援学級の子どもたちが自己肯定感や自信、安心感がもてるよう、友だちとのつながりを深めることができるよう、どうしたらよいかを教えていただきました。受講されている西澤先生も問題意識をもって参加されていて、この日は西澤先生の希望で、特別支援学級の子どもたちが原級で授業に取り組んでいる様子を見せていただきました。西澤先生が、授業参観の後で自分の学級の特別支援学級の子どもを思い浮かべて、「〇〇くんは友だちに教えることができるだろうか」と自問している姿が印象的でした。参観後は、交流・共同学習について浦田先生より教えていただきました。「子どもを引き付ける教材が大事」「子どもが見通しをもつことができるように」「特別支援学級で自己肯定感を蓄え、そして原級へ戻る」「教師はチームで動く」「どの子も達成感や所属感がもてる」など、なるほどと思うことばかりでした。



「教師はチームで動く」



「子どもを引き付ける教材」



「子どもが見通しをもつことができるように」

